

## 第126回

2016. 8. 18

# 企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業313社、回答企業180社、回答率57.5%
調査対象期間	2016年4～6月期の実績、7～9月期および10～12月期の予想
調査時点	2016年7月上旬～下旬

### 要約

#### 4～6月期の業況判断はやや改善 7～9月期、10～12月期も改善が続く見通し

県内企業（全産業）経営動向調査結果によれば、業況判断BSIは、1～3月期と比べ、4～6月期（前期→当期： $\Delta 16 \rightarrow \Delta 13$ ）はやや改善した。また、前回調査時の予想（ $\Delta 12$ ）と比べてほぼ横ばいとなっている。業種別にみると、製造業（同： $\Delta 29 \rightarrow \Delta 6$ ）が改善した一方で、非製造業（同： $\Delta 11 \rightarrow \Delta 16$ ）は悪化している。

先行きについては、7～9月期の業況判断（ $\Delta 10$ ）は、悪化を予想する企業の比率が低下していることなどから、引き続きやや改善する見通しである。また、10～12月期の業況判断（7）も改善が続く見通しである。

4～6月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期より上昇し、総投資額も製造業の増加幅が大きく前年同期比12.9%増の約238億円となった。先行き7～9月期の計画は、実施企業の比率が前年同期と比べ低下し、金額も同27.1%減の見込みとなっている。

今後1年間の設備投資意欲については、前期と比べ、製造業が改善の一方、非製造業はやや悪化し、全業種では前期と比べほぼ横ばいとなっている。

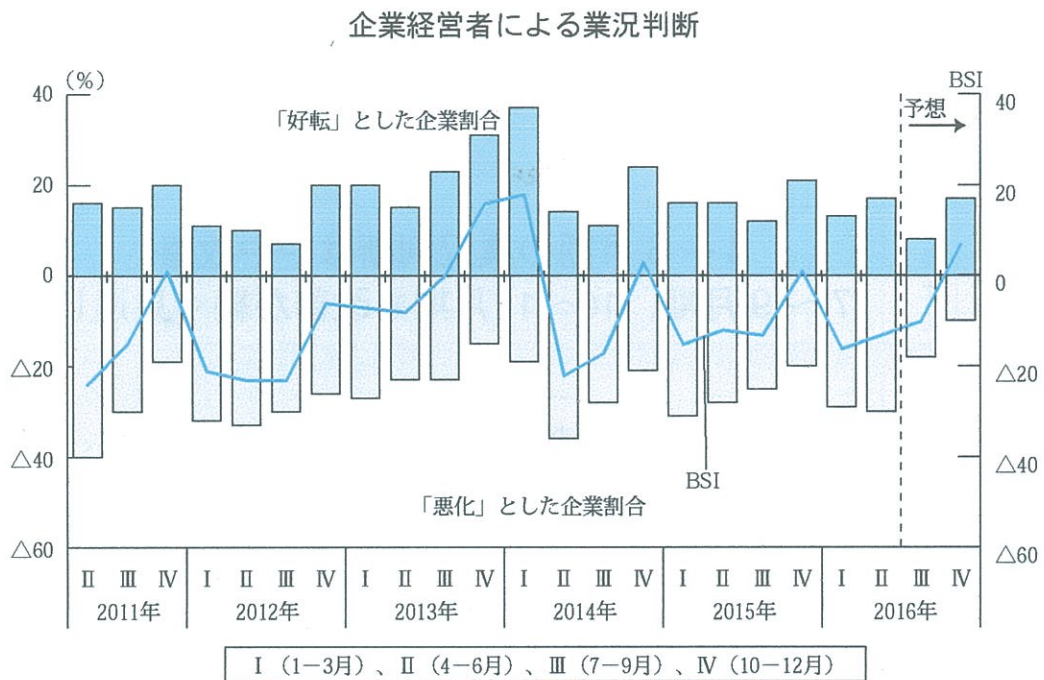
## 1. 概況 (全産業)

【2016年4～6月期の実績】 業況判断はやや改善し、前回調査時予想とほぼ横ばい

県内企業の当期（2016年4～6月期、以下同じ）の業況判断は、前期と比べ好転とした比率が上昇したことから、やや改善した。

B S I（業況が「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を引いた数値）でみると、前期に比べ、売上げB S Iは $\Delta 9 \rightarrow \Delta 12$ 、収益B S Iは $\Delta 8 \rightarrow \Delta 13$ とともに悪化した。一方、業況判断B S Iは $\Delta 16 \rightarrow \Delta 13$ となり、前回調査時の4～6月期予想（ $\Delta 12$ ）とほぼ横ばいとなっている。

4～6月期の業況判断B S Iを2011年からみると、 $\Delta 24 \rightarrow \Delta 23 \rightarrow \Delta 8 \rightarrow \Delta 22 \rightarrow \Delta 12 \rightarrow \Delta 13$ （今回）となっている。概ね横ばいで推移している景気を反映し、前年同期と同水準の結果となった。



— 図の見方 —

- ① アンケートでは、売上げ、経常利益、業況の各項目について、前期に比べて「好転（増加）」「不変」「悪化（減少）」の回答を求めており、B S Iはこのうち「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を差し引いた値です。
- ② このB S Iから、「売上げが何%伸びたか」など計数的な測定はできませんが、景気の転換点（景気の山、谷）や「好転感が県内の各企業にどの程度広がっているか」といった「浸透度」をみることが可能です。
- ③ 前期比は季節性が入りやすいので、前年同期と比較することも必要です。

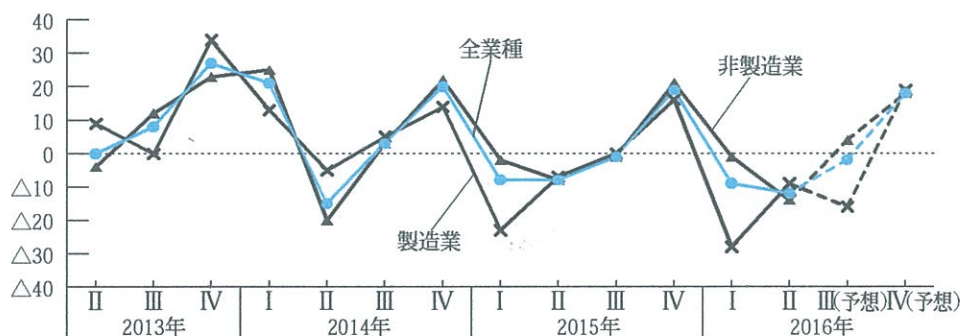
【2016年7～9月期の予想】 業況判断はやや改善が続く見通し

7～9月期の予想は、4～6月期に比べ、全業種の売上げB S I ( $\Delta 12 \rightarrow \Delta 2$ )、収益B S I ( $\Delta 13 \rightarrow \Delta 2$ )は改善、業況判断B S I ( $\Delta 13 \rightarrow \Delta 10$ )もやや改善の見通しとなった。また、この業況判断B S Iは、前年同期の実績 ( $\Delta 13$ )をやや上回っている。

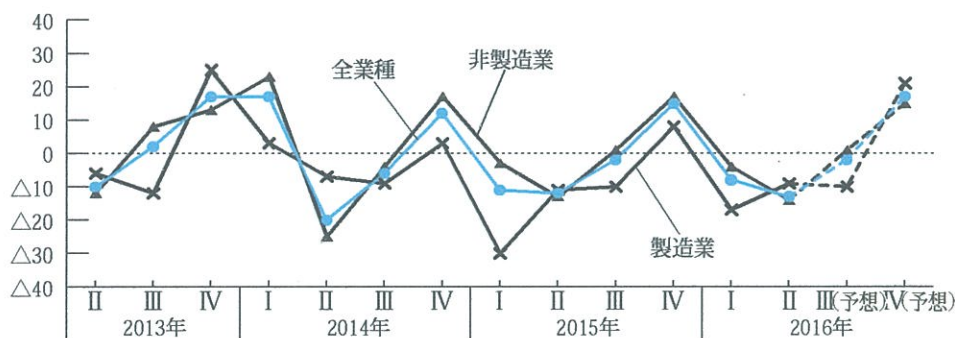
【2016年10～12月期の予想】 業況判断は改善が続く見通し

10～12月期の予想は、7～9月期に比べ、売上げB S I ( $\Delta 2 \rightarrow 18$ )、収益B S I ( $\Delta 2 \rightarrow 17$ )、業況判断B S I ( $\Delta 10 \rightarrow 7$ )ともに改善する見通し。また、この業況判断B S Iは前年同期実績 (1) も上回っている。総じてみれば、先行きにおいて、悪化する見通しを持つ企業の比率の低下を反映している。

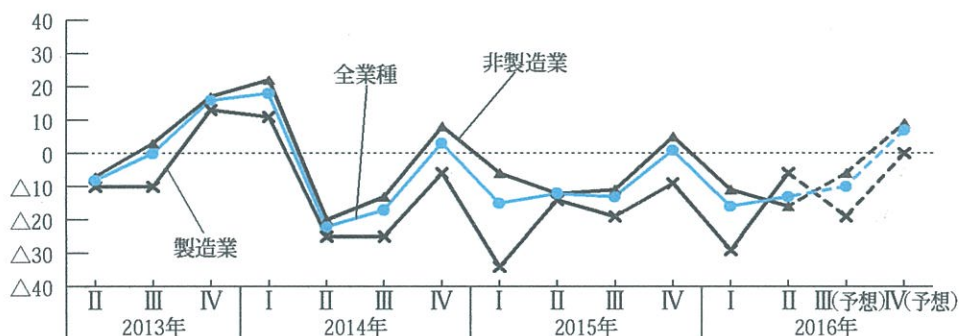
(1) 売上げB S I



(2) 収益B S I



(3) 業況B S I



## 2. 製造業の動向

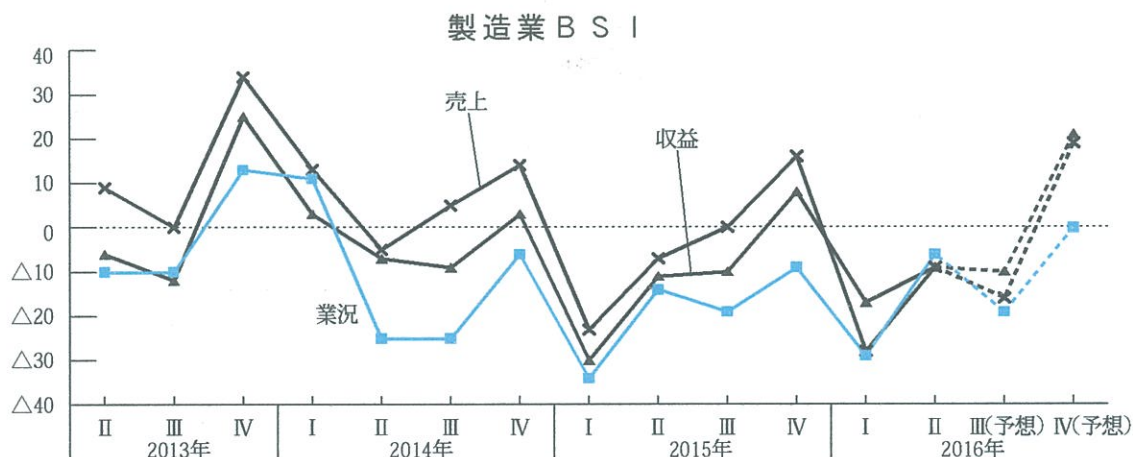
【製造業の現状】 業況判断は改善し、前回調査時予想とほぼ横ばい

前期に比べ、売上げB S I ( $\Delta 28 \rightarrow \Delta 9$  (前回調査時の予想 $\Delta 8$ ))、収益B S I ( $\Delta 17 \rightarrow \Delta 9$  (同 $\Delta 9$ ))、業況判断B S I ( $\Delta 29 \rightarrow \Delta 6$  (同 $\Delta 8$ )) はともに改善した。前年同期と比べると、売上げB S I ( $\Delta 7 \rightarrow \Delta 9$ )、収益B S I ( $\Delta 11 \rightarrow \Delta 9$ ) はほぼ横ばい、業況判断B S I ( $\Delta 14 \rightarrow \Delta 6$ ) は改善している。

【先 行 き】 業況判断は、7～9月期は悪化の一方、10～12月期は改善の見通し

7～9月期の予想をみると、当期に比べ、収益B S I ( $\Delta 9 \rightarrow \Delta 10$ ) はほぼ横ばいの一方、売上げB S I ( $\Delta 9 \rightarrow \Delta 16$ )、業況判断B S I ( $\Delta 6 \rightarrow \Delta 19$ ) はともに悪化する見通し。なお、この業況判断B S Iの予想は、前年同期 ( $\Delta 19$ ) と横ばいである。

一方、10～12月期の予想は、7～9月期予想に比べ、売上げB S I ( $\Delta 16 \rightarrow 19$ )、収益B S I ( $\Delta 10 \rightarrow 21$ )、業況判断B S I ( $\Delta 19 \rightarrow \pm 0$ ) はともに改善する見通し。また、この業況判断B S Iの予想は、前年同期 ( $\Delta 9$ ) を9ポイント上回っている。



## 3. 非製造業の動向

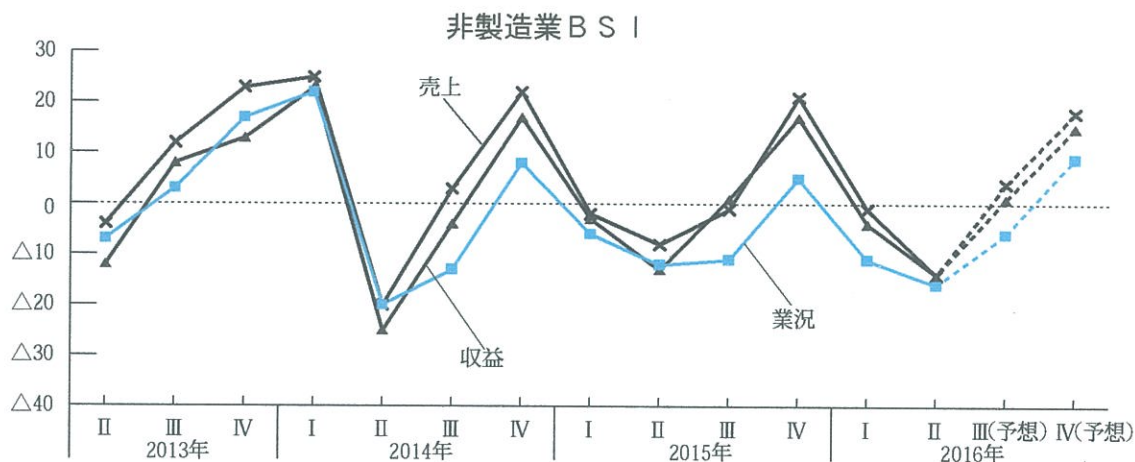
【非製造業の現状】 業況判断は悪化し、前回調査時予想よりもやや低い水準

前期に比べ、売上げB S I ( $\Delta 1 \rightarrow \Delta 14$  (前回調査時の予想 $\Delta 12$ ))、収益B S I ( $\Delta 4 \rightarrow \Delta 14$  (同 $\Delta 18$ ))、業況判断B S I ( $\Delta 11 \rightarrow \Delta 16$  (同 $\Delta 15$ )) はともに悪化した。前年同期と比べると、収益B S I ( $\Delta 13 \rightarrow \Delta 14$ ) はほぼ横ばいだが、売上げB S I ( $\Delta 8 \rightarrow \Delta 14$ )、業況判断B S I ( $\Delta 12 \rightarrow \Delta 16$ ) は悪化している。

【先 行 き】 業況判断は、7～9月期、10～12期とも改善の見通し

7～9月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI (△14→4)、収益BSI (△14→1)、業況判断BSI (△16→△6) はともに改善の見通し。また、この業況判断BSIの予想は、前年同期 (△11) を5ポイント上回っている。

10～12月期の予想も、7～9月期予想に比べ、売上げBSI (4→18)、収益BSI (1→15)、業況判断BSI (△6→9) はともに改善の見通し。また、この業況判断BSIの予想は、前年同期 (5) を4ポイント上回っている。

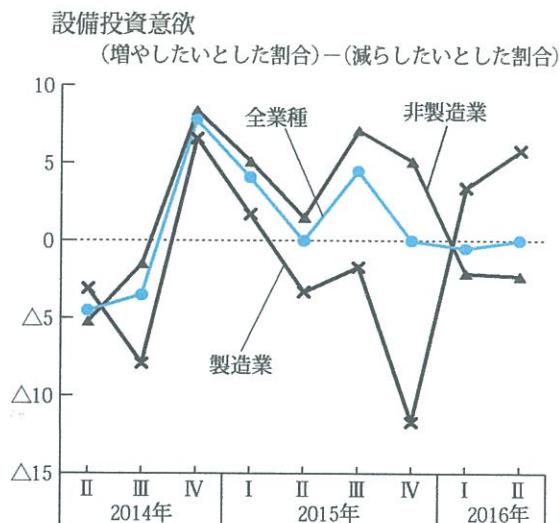


#### 4. 設備投資の動向

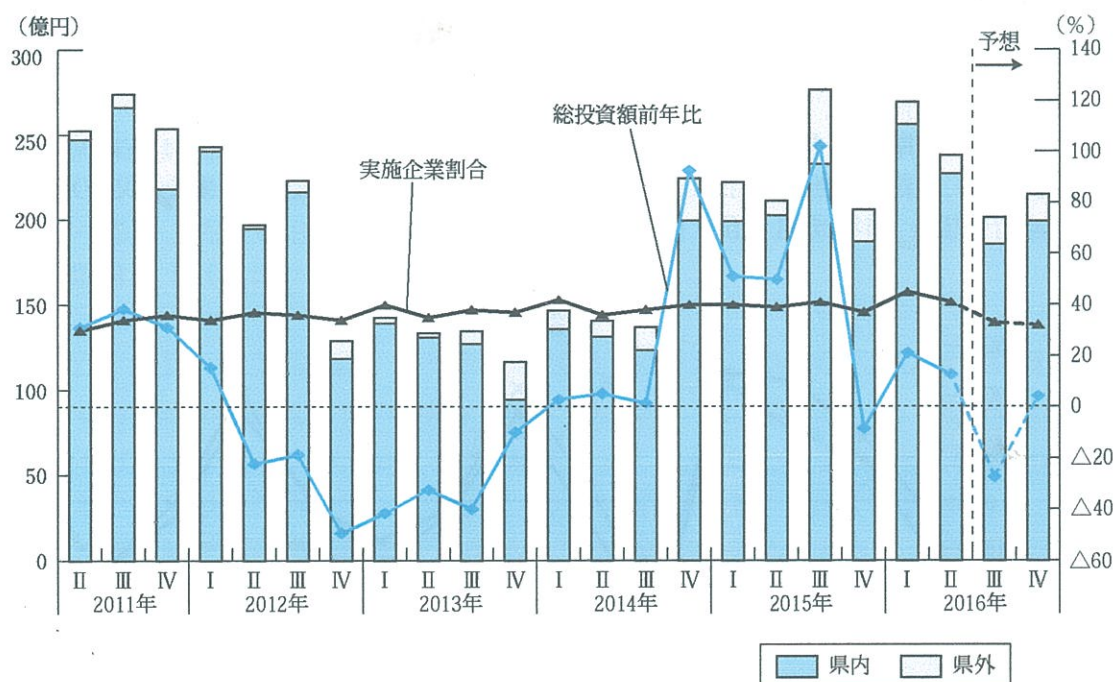
回答企業 (全産業) のうち、当期において1百万円以上の設備投資 (新規リース契約を含む) を実施した企業は全体の41.1%、総投資額は238億円 (うち、県内投資額は226億97百万円) であった。前年同期と比較すると、総投資額は、製造業で大幅に増加したことから、全体でも12.9%増となった (前期比では11.6%減)。また、実施企業の割合も2.5ポイント上昇している。

一方、先行きの計画をみると、7～9月期の実施企業割合は33.3%で前年同期を下回るとともに、総投資額は約201億円で前年同期比27.1%減となる見込みである。10～12月期の総投資額については、約215億円で同4.5%増の見込みである。

今後1年間の設備投資意欲 (全産業) は、「増やしたい」、「減らしたい」とともに14.4%、「ほぼ変わらない」が71.1%となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率 (±0.0ポイント) は、前期と比べほぼ横ばいとなっている。



## 設備投資額（支払ベース）



## 製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、53.8%で前年同期より11.2ポイント上昇した。また、総投資額は、224億40百万円（同186億37百万円）で大手の電気機械を中心に前年同期比20.4%増加、うち県内投資額は218億18百万円（同184億31百万円）となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」の比率が上昇した一方、「増産・拡販のため」は低下している。

先行きの計画については、7～9月期の総投資額は約183億円で前年同期比20.9%減の一方、10～12月期は約193億円で同7.8%増の見込みである。

今後1年間の投資意欲について、先行き「増やしたい」とする企業割合（17.3%）が「減らしたい」とする企業割合（11.5%）を5.8ポイント上回った。また、この差は2期連続で非製造業を上回っている。

## 非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、35.9%で前年同期とほぼ横ばいの0.8ポイント低下となった。一方、総投資額は13億56百万円（同24億51百万円）で、店舗新設や太陽光発電建設などが目立った前年からの反動により、前年同期比44.7%減少した。県内投資額は8億79百万円（同18億19百万円）となっている。

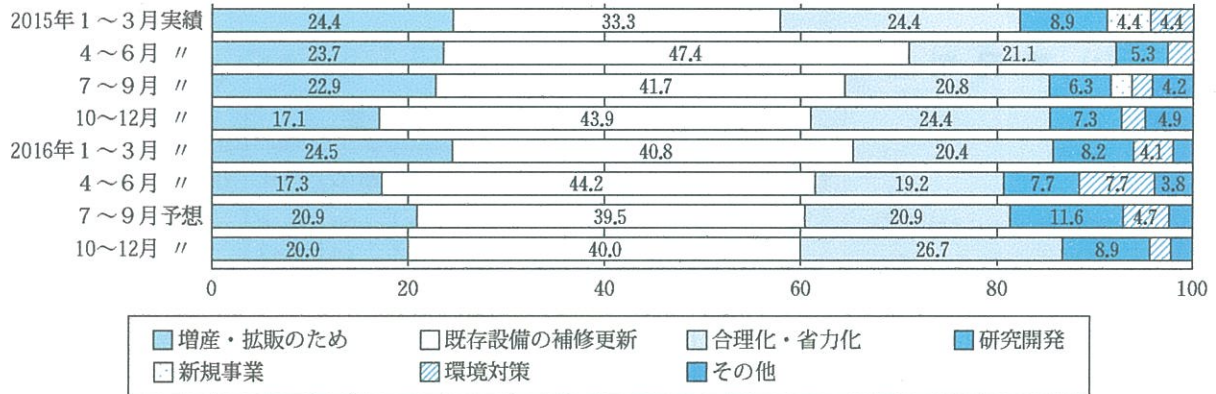
目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」、「合理化・省力化」の比率が上昇した一方で、「拡販のため」が低下している。

先行きの計画については、7～9月期の総投資額は約19億円で前年同期比58.7%減、10～12月期も約22億円で同17.6%減となる見込みである。

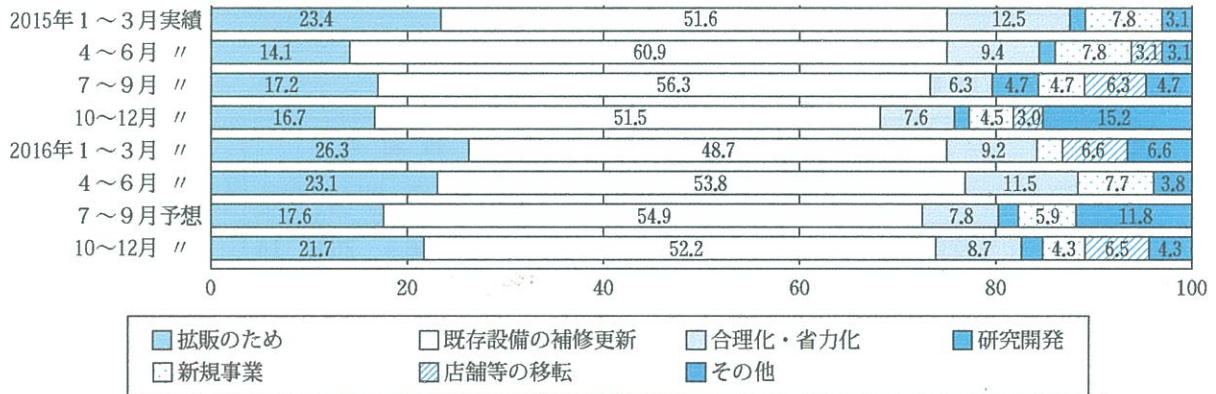
今後1年間の投資意欲は、先行き「増やしたい」とする企業割合（13.3%）が「減らしたい」とする企業割合（15.6%）より2.3ポイント下回った。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	0	0	0
	1～3百万円未満	1	1	0
	3～5百万円未満	4	0	4
	5～10百万円未満	2	0	2
	10～50百万円未満	109	29	80
	50～1億円未満	39	13	26
	1億円以上	25	9	16
	計	180	52	128
従業員数	10人未満	16	6	10
	10～30人未満	39	8	31
	30～50人未満	38	10	28
	50～100人未満	36	7	29
	100～200人未満	29	8	21
	200～300人未満	7	5	2
	300～	15	8	7
計	180	52	128	

	(社)	
	業種	回答
製造業	食料品	6
	繊維製品	4
	木材・木製品	9
	パルプ・紙	2
	化学工業	6
	窯業・土石	5
	機械・金属	15
	その他	5
	計	52
	非製造業	建設業
運送業		13
卸売業		36
小売業		25
サービス業		38
その他		1
計		128
総数	180	

## 参考資料

## B S I

## (1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2014年10～12月実績	24	55	21	3	20	54	26	△6	27	54	19	8
2015年1～3月 //	16	53	31	△15	9	48	43	△34	20	54	26	△6
4～6月 //	16	56	28	△12	20	46	34	△14	14	60	26	△12
7～9月 //	12	63	25	△13	12	57	31	△19	11	67	22	△11
10～12月 //	21	59	20	1	18	55	27	△9	22	61	17	5
2016年1～3月 //	13	58	29	△16	7	57	36	△29	16	57	27	△11
4～6月 //	<b>17</b>	<b>53</b>	<b>30</b>	<b>△13</b>	<b>19</b>	<b>56</b>	<b>25</b>	<b>△6</b>	<b>16</b>	<b>52</b>	<b>32</b>	<b>△16</b>
7～9月予想	8	74	18	△10	2	77	21	△19	11	72	17	△6
10～12月 //	17	73	10	7	8	84	8	0	20	69	11	9

## (2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2014年10～12月実績	44	32	24	20	39	36	25	14	46	30	24	22
2015年1～3月 //	28	36	36	△8	22	33	45	△23	31	36	33	△2
4～6月 //	29	34	37	△8	31	31	38	△7	28	36	36	△8
7～9月 //	27	45	28	△1	32	36	32	0	25	49	26	△1
10～12月 //	41	37	22	19	43	30	27	16	41	39	20	21
2016年1～3月 //	28	35	37	△9	19	34	47	△28	32	35	33	△1
4～6月 //	<b>27</b>	<b>34</b>	<b>39</b>	<b>△12</b>	<b>29</b>	<b>33</b>	<b>38</b>	<b>△9</b>	<b>26</b>	<b>34</b>	<b>40</b>	<b>△14</b>
7～9月予想	22	54	24	△2	15	54	31	△16	25	54	21	4
10～12月 //	33	52	15	18	31	57	12	19	34	50	16	18

## (3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2014年10～12月実績	36	40	24	12	31	41	28	3	39	39	22	17
2015年1～3月 //	26	37	37	△11	22	26	52	△30	28	41	31	△3
4～6月 //	24	40	36	△12	28	33	39	△11	22	43	35	△13
7～9月 //	27	44	29	△2	29	32	39	△10	26	49	25	1
10～12月 //	36	43	21	15	35	38	27	8	36	45	19	17
2016年1～3月 //	26	40	34	△8	20	43	37	△17	29	38	33	△4
4～6月 //	<b>26</b>	<b>35</b>	<b>39</b>	<b>△13</b>	<b>29</b>	<b>33</b>	<b>38</b>	<b>△9</b>	<b>25</b>	<b>36</b>	<b>39</b>	<b>△14</b>
7～9月予想	21	56	23	△2	17	56	27	△10	22	57	21	1
10～12月 //	31	55	14	17	29	63	8	21	32	51	17	15

(注) B S I = (好転) - (悪化)